

LFD

低周波脱磁装置



特長

- 出力周波数は0.1Hz～9.9Hzの範囲で可変できるため、搬送速度に合わせた最適な周波数が設定可能です。
- 出力電流はリップルの小さな矩形波であり、表皮効果の影響が小さく、磁界が製品内部まで浸透し、製品を完全に脱磁することができます。
- 脱磁出力電流は2次側制御のため、1次側電源の電圧変動の影響を全く受けることなく、安定した脱磁能力を得ることができます。
- プラス側出力・マイナス側出力のバランス調整ができますので、地磁気・残留磁気（設置場所周囲の設備）の影響を考慮した脱磁が可能です。
- 一定出力値での走間脱磁の他、電流減衰制御、周波数減衰制御を組み合わせた減衰脱磁も可能です。
- 脱磁出力系統の機械的機構がまったくないため、脱磁能力の経年変化がなく、ほとんどメンテナンスフリーで使用できます。
- 脱磁出力制御はインバーター方式であり、同じ磁界の強さを得るための消費電力は従来品に比べ半分以下であり、非常に経済的です。
- 脱磁対象品は大型の鋳鍛品（鋼材・棒鋼）や形状が複雑な金型等、今まで脱磁困難とされていた部品等に適します。

仕様

型式	LFD-050	LFD-100	LFD-200	LFD-300
電源入力	交流三相 200V 50/60Hz			
入力電流	10A	50A	100A	150A
出力電流	30A	100A	200A	300A
電流波形	矩形波			
電流調整	デジタルポテンショメータ			
電流計	デジタル電流計			
出力周波数	0.1Hz～9.9Hz 可変			
周波数計	デジタル周波数計			
通電サイクル	連続通電			
本体寸法 (mm)	600W×700D×1,200H	700W×800D×1,400H	900W×1,000D×1,600H	900W×1,000D×1,600H